

## 宮津市保育・教育の充実にに向けた行動指針

### ◆行動指針策定の背景

就学前施設における保育・教育は、子どもの将来を見据え、幼児期における「育みたい資質・能力」及び「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を形成する上で極めて重要な役割を担っています。

また、人口減少が進む中、若い世代から「選ばれる」まちを目指すためには、子どもが心身ともに安全・安心に過ごすことができ、主体的な育ちが保障されるとともに、信頼し、安心して子どもを通わせることができる、より質の高い保育・教育環境の整備と、多様なニーズへの対応が必要です。

### ◆行動指針策定の目的

保育・教育に携わるすべての職員が、就学前施設の役割を充分認識した上で、共通の価値観と行動基準を共有し、現状や課題への認識を深めながら、日々の子どもの関わりにおいて一貫性のある行動を取ることができるよう、「行動指針」を策定するもので、本指針は、保護者や地域から信頼され、選ばれる保育・教育の実現に向けて、職員一人ひとりが行動の拠り所とするものです。

### ◆現状と課題

#### ◇施設

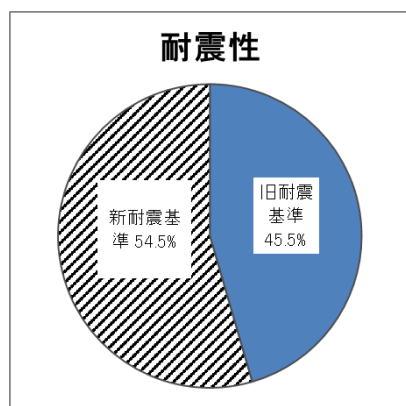
市内には、就学前施設が11施設あります。建設年度がそれぞれ異なり、約半数が旧耐震基準に基づくもので、耐震診断や改修等の調査が必要となっています。

また、遊戯室の狭さや保育室の間取りに関する課題も多い状況となっています。

公立保育所 2施設  
民間保育園 3施設  
幼保連携型認定こども園 3施設  
公立幼稚園 2施設  
幼稚園型認定こども園 1施設

#### [建設年度]

日置保育所	1989	年
養老保育所	1991	年
亀ヶ丘保育園	1980	年
みずほ保育園	1975	年
たんぼぼ保育園	1980	年
吉津子ども園	1982	年
吉津子ども園分園	2017	年
府中子ども園	1982	年
宮津幼稚園	1974	年
栗田幼稚園	1976	年
宮津暁星幼稚園	1983	年



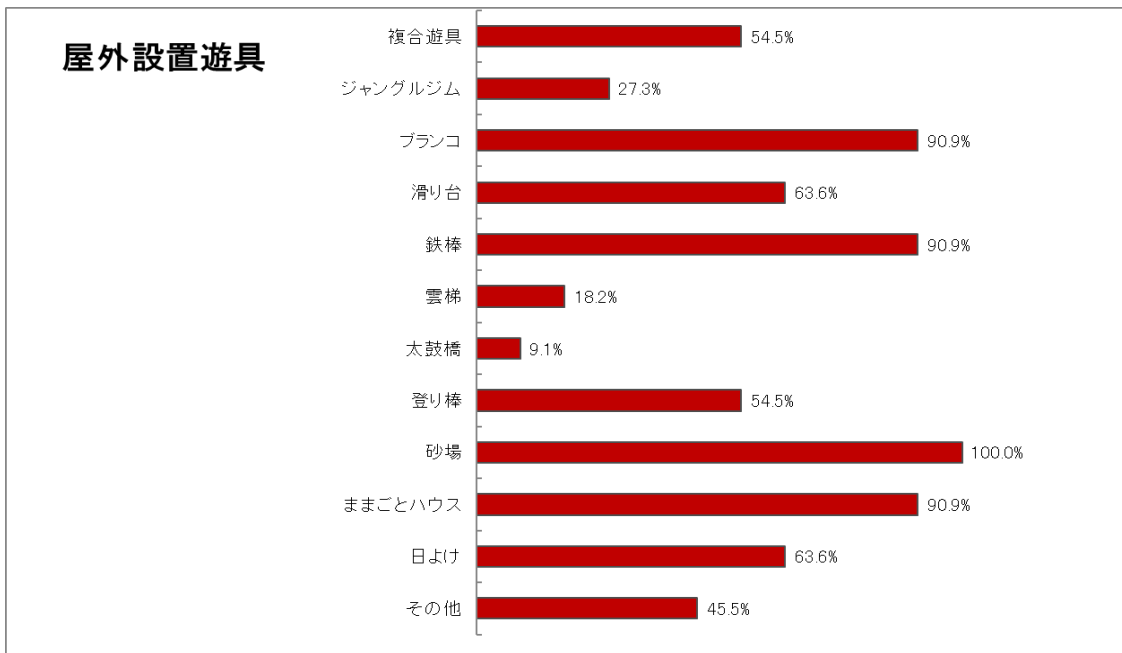
## ◇遊具・玩具

保育室・教室の遊具や玩具については、充足状況が不十分で、子どもの発達を促す環境の整備が必要です。

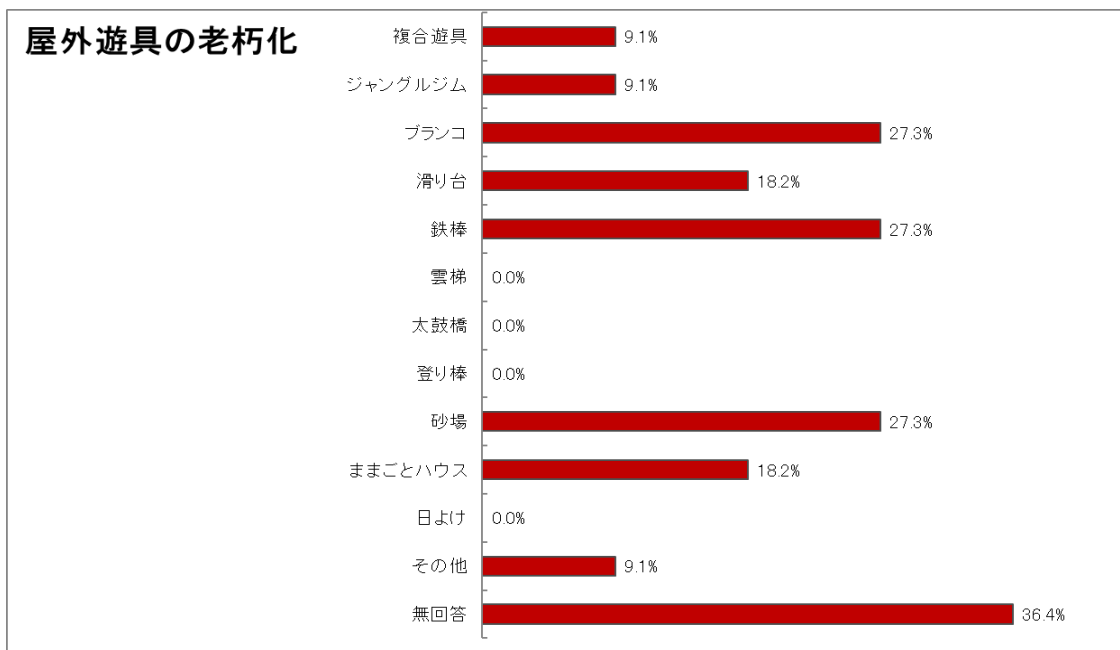
また、基本的な屋外遊具は設置されていますが、複合遊具の設置は少ないほか、日よけの常設が少なく、熱中症対策の徹底が必要であるほか、計画的に遊具の修繕や更新を進めることが必要となっています。

どの施設においても玩具が充足していない状況です。

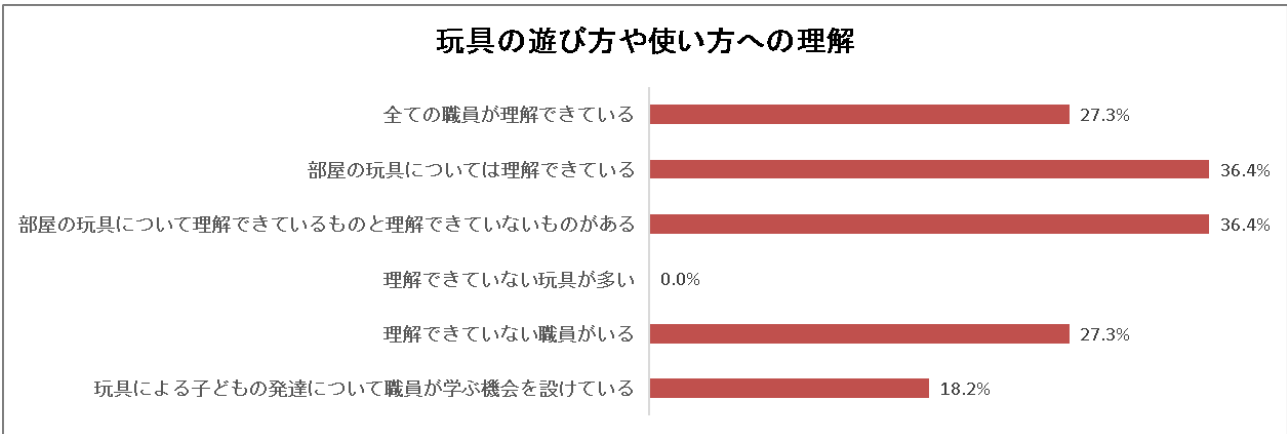
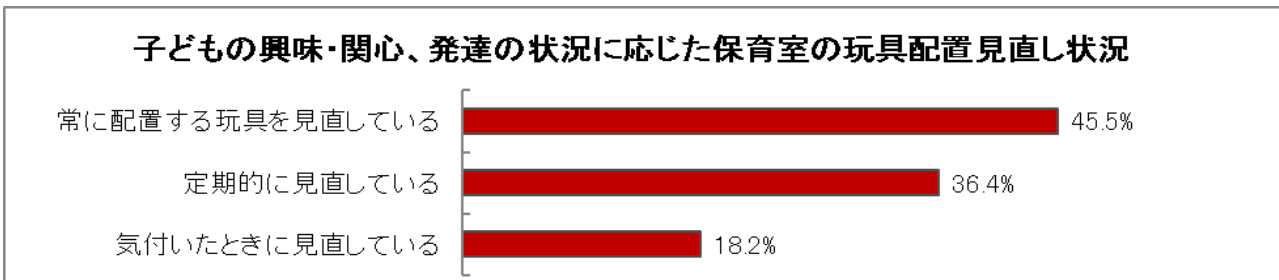
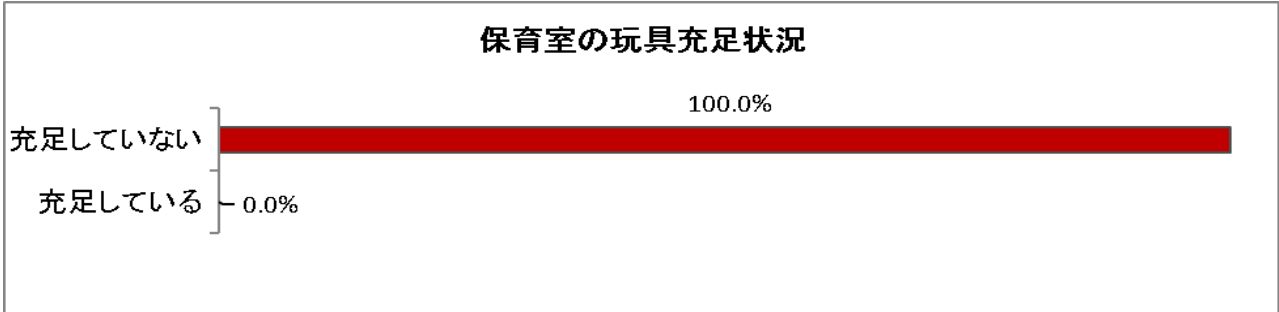
また、常に子どもの興味・関心、発達の状況に応じた玩具の配置と玩具の機能・遊び方について、全ての職員に理解を深める必要があります。



(その他) トレイン (1) コンパン (1) 全方向ブランコ (1) ログハウス (1)  
スペースキューブ (2) クライミング (2) スイングボール (1)



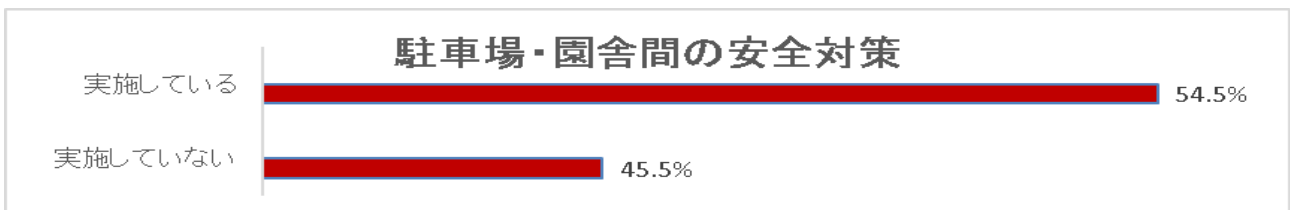
(その他) トレイン (1) ログハウス (1)

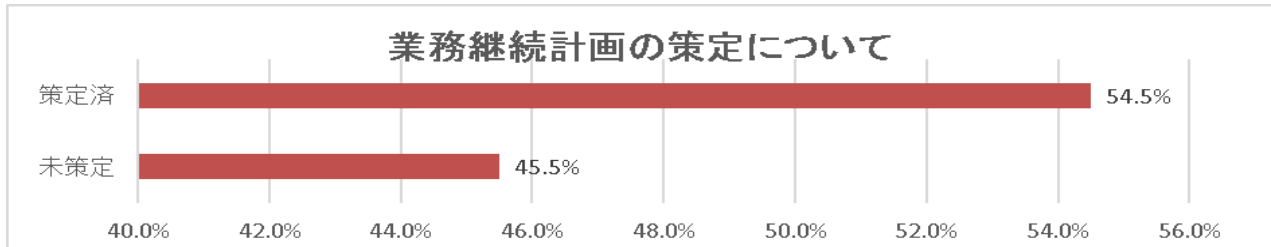


#### ◇防犯・防災・安全対策

送迎時の駐車場、園舎間及び園舎からの飛び出し防止にかかる安全対策については、改善や徹底が必要であるとともに、不審者侵入対策については、施設の立地や設備上の課題が多い状況です。

様々な場面を想定した訓練の実施や非常食の常備などを行い非常時に備えるとともに、災害時の業務継続計画については、努力義務ではあるものの、早期の策定が必要です。

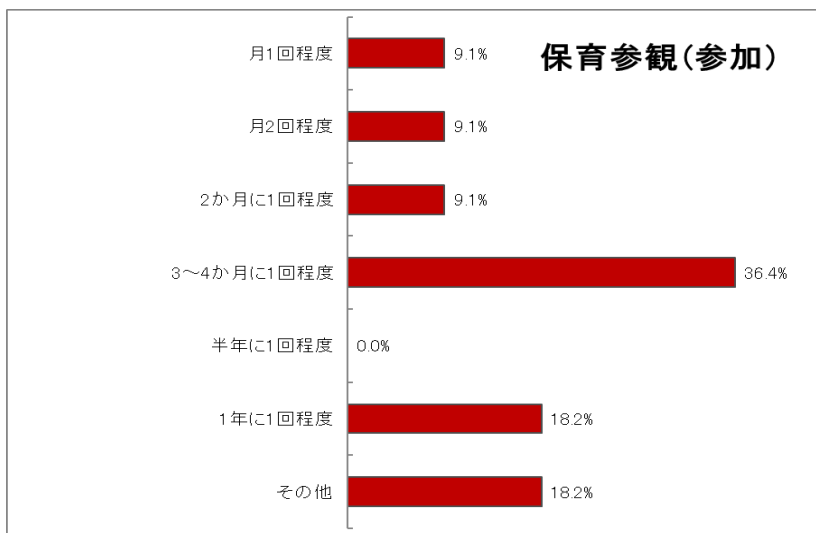
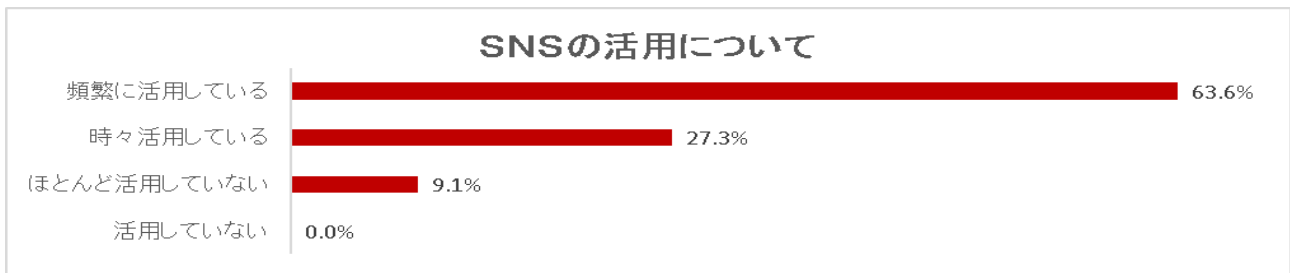




#### ◇情報公開・情報発信

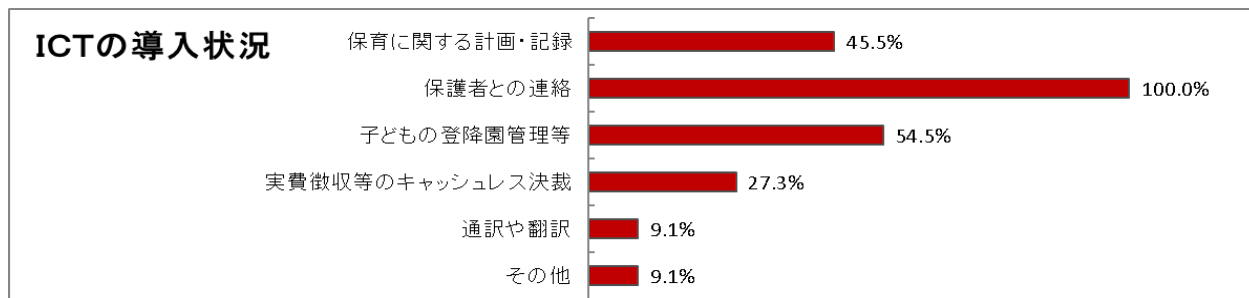
園だよりについては、全施設とも毎月発行されていますが、クラスだよりや保健だよりは、発行頻度に差が生じているほか、SNSの活用についても、活用頻度には差が生じています。

また、各施設が工夫し、参観の機会を設けていますが、実施頻度については差が生じています。



#### ◇ICTの活用

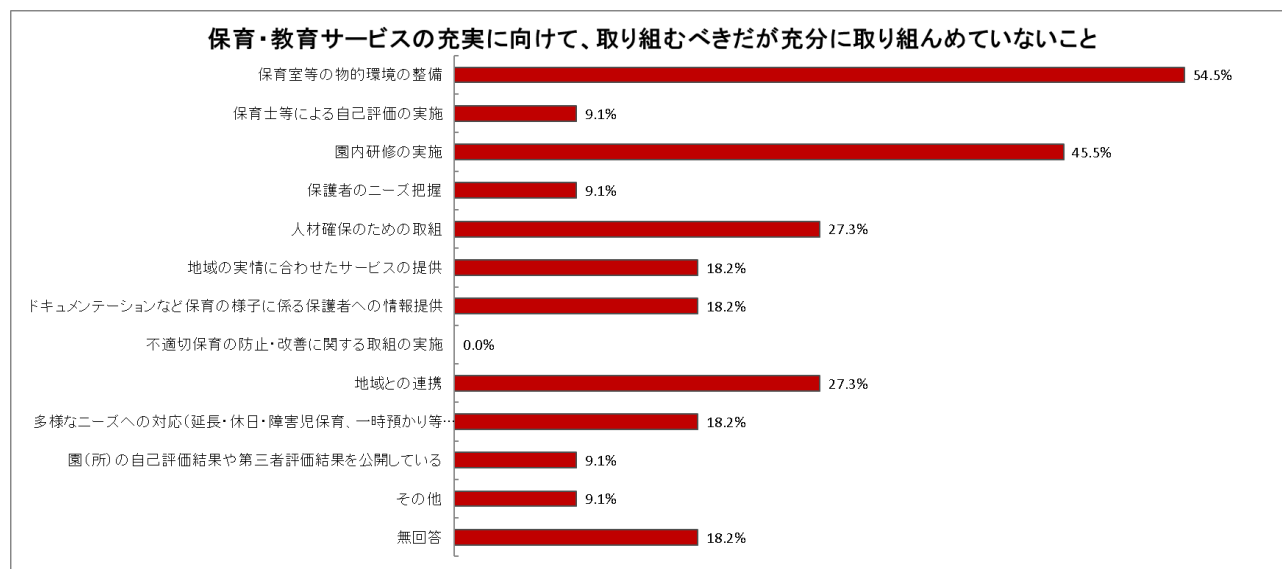
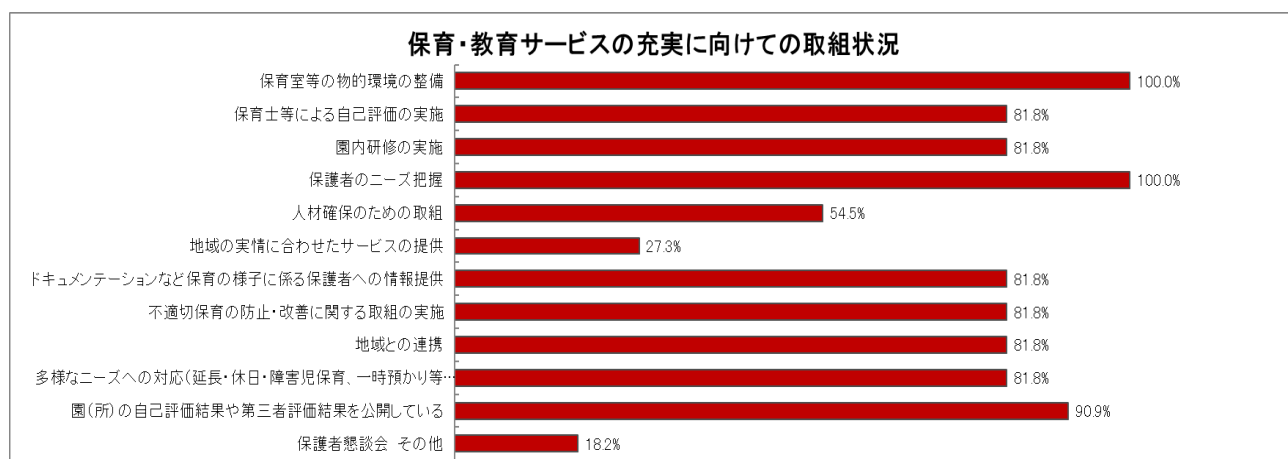
保護者との連絡ツールは、全施設が導入しているものの、子どもの登降園管理や保育に関する計画・記録については、半数の導入にとどまっています。



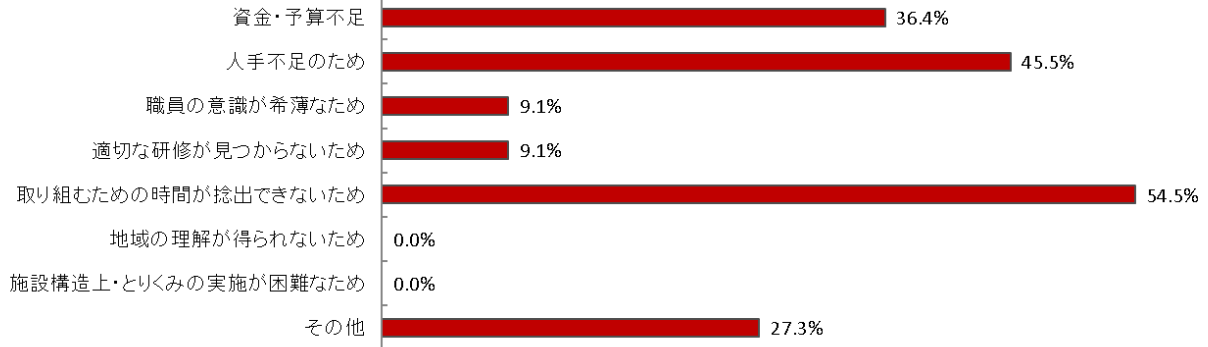
## ◇職員

少子化が進む中、今後の運営や経営に対する不安が広がっています。そうした中、サービス提供の根幹である人材確保のための取組があまり進んでおらず、職員の福利厚生に関する制度の整備をはじめ、様々な取組により、求職者から選ばれ、かつ働きやすい職場づくりを進める必要があります。

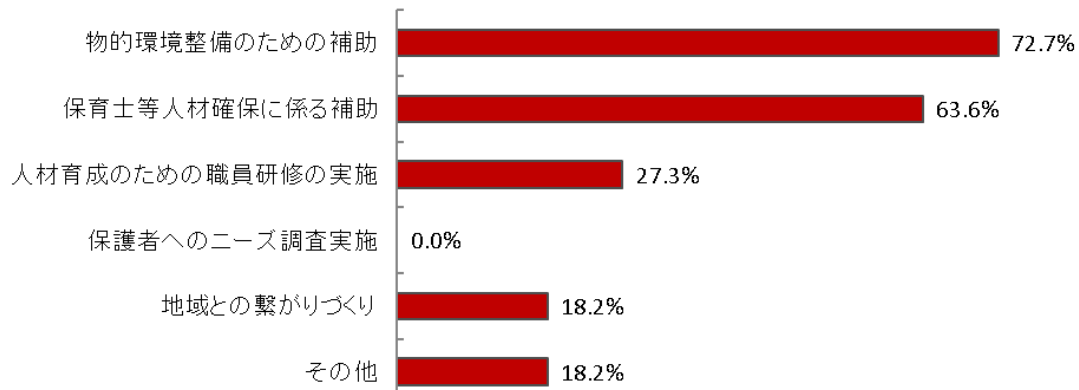
また、障害児特別保育の実施にあたっては、支援が必要な児童の加配対応等についての充実が求められています。今後の人口減少や園の経営(資金)面等、様々な課題が見受けられるため、官民挙げての取組が急務となっています。



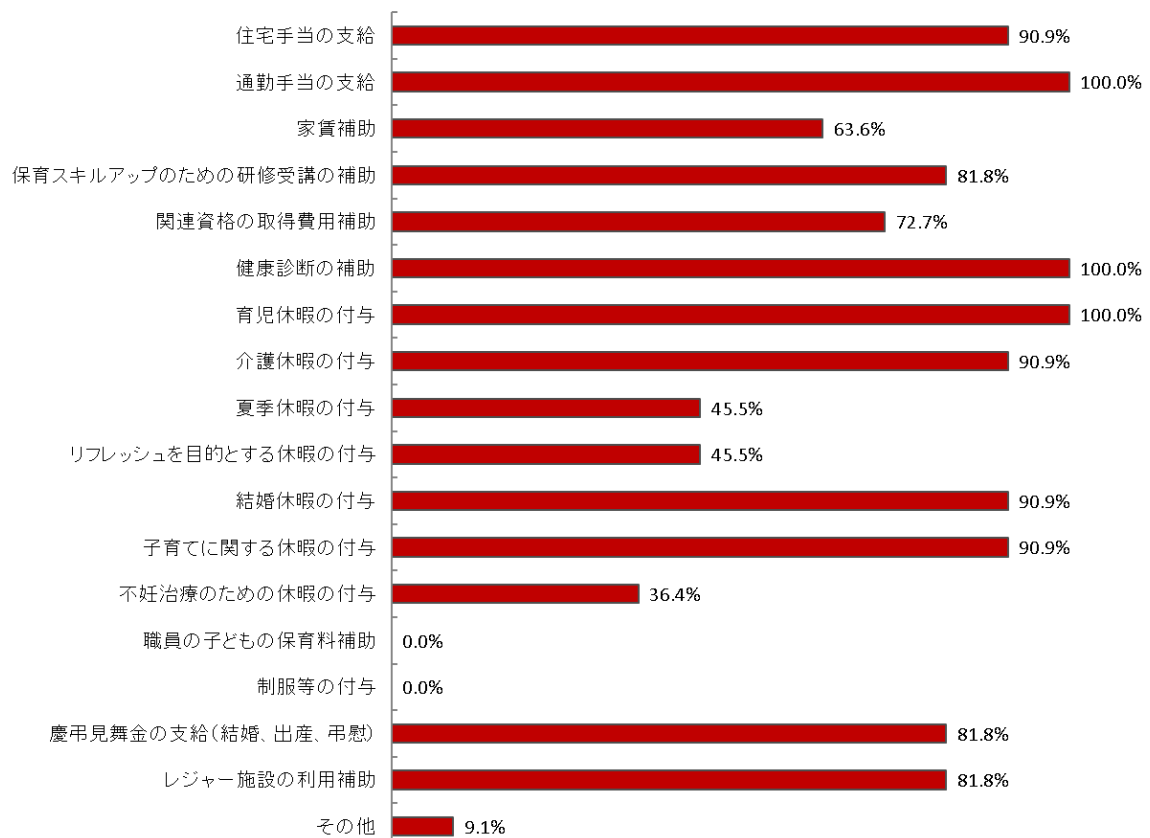
### 取り組めていない理由



### 取組を実施するために市に担ってほしいこと



### 法定外福利厚生制度の実施状況



# 宮津市保育・教育の充実に向けた行動指針

## (施設と市の役割整理)

### I 保護者から信頼され、選ばれる環境づくり

#### (1) 清潔で気持ちよく、安全で、安心して過ごせる環境(施設)

観点	施設の役割	市の役割
施設の清潔感	・保健衛生マニュアルや感染症対応マニュアルの整備とともに、施設内の整理整頓、清掃や消毒、換気と温度・湿度の管理、玩具の衛生管理清掃に取り組み、それをチェック表で見える化することにより、安全で衛生的な環境を整えます。	・清掃・消毒等を行う保育支援者配置への支援 ・施設運営に関する指導・助言
保育環境の充実	・心理的安全性の高い、居心地の良い保育環境を整えます。 ・身近な保育士・教職員との関わりを大切にしながら、周りの友達との人間関係が広がっていくことで、施設が子どもにとって自分の居場所となっていくよう配慮します。	
園庭の環境整備	・自然体験や運動体験をはじめとする様々な体験活動ができる、安全で遊びやすい園庭を整えます。	・園庭整備への支援

#### (2) 遊具・玩具の充実

観点	施設の役割	市の役割
発育・発達段階に応じた整備・見直し	・子どもたちの身体的・知的発達を促進し、多様な遊びを通して、思考力、創造力、協調性などの非認知能力や社会性を育むための質の高い遊具や玩具を、年齢や発達段階・興味に合わせて十分に用意し、適切に活用できる環境を整えます。 ・定期的に点検を行い、子どもの興味・関心、発達段階に合わせて玩具の入れ替え・見直しを実施します。	・遊具等整備への支援 ・保育コーディネーターによる巡回支援
安全基準に沿った点検・更新	・玩具の対象年齢と使用上の注意を守って提供します。 ・遊具・玩具の点検を定期的に行い、事故を未然に防ぎます。 ・安全な遊具・玩具を提供するため、計画的な更新に努めます。	

#### (3) 職員の質の向上

観点	施設の役割	市の役割
遊具・玩具に対する知識の向上・実践	・すべての職員に研修の受講機会を確保します。 ・管理職は、外部研修への参加を積極的に促し、職員の新たな知識や技術の習得に努めます。	・市主催の研修会の充実 ・市以外が主催する研修会の情報発信

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修で得た知識を職員間で共有する機会を設け、計画的に園内研修を実施し、日々の振り返りや研鑽を通して施設全体として専門性を高めます。</li> </ul>	
不適切行為の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チェックリストを活用し、施設全体で定期的に保育・教育の検証を行い、倫理観の醸成を図ります。</li> <li>・ICTシステムの導入による事務作業の効率化を行い、保育士・教職員のゆとり時間を確保します。</li> </ul>	
食に関する安全強化・発達促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心と安らぎの中で、食べる意欲の基礎作りを行います。</li> <li>・発達段階に応じた、食材、形状、食器、食具を提供します。</li> <li>・様々な食育活動を通して、食べ物や食事の大切さを伝えます。</li> <li>・調理室と保育室が連携を図り、安全な食事を提供すると共に、食事の量や形状、食べ進めるスピード、咀嚼など個々に対応し、楽しい食事時間とします。</li> <li>・食品衛生と、誤嚥、アレルギーなどの事故防止の両面から対策を講じます。</li> <li>・食事も発達を促す時間と捉え、食事の提供の仕方も含め、個々の意志と発達を尊重した適切な援助・支援・声かけについて、全ての保育士・教職員及び調理員が共通理解を図り、定期的に確認・見直し等を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消の促進</li> <li>・食具購入への支援</li> <li>・市が実施するフードバンク事業を含め、安心して安価な食材の確保に向けた支援、納入業者の確保</li> </ul>

#### (4) 保護者に対する適切な支援

観点	施設の役割	市の役割
信頼関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の話を丁寧に聞き、保護者の自主性を尊重します。</li> <li>・子どもの成長を見守るパートナーとして信頼関係を築きます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども家庭センターの設置による相談支援</li> </ul>
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの様子や成長を具体的に保護者に伝えます。</li> <li>・家庭と協力して子どもの成長を支えます。</li> </ul>	
相談・援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育ての悩みや不安を受け止め、保護者の気持ちを尊重しながら、専門的知識に基づいたアドバイスをし、子育ての負担を軽減します。</li> <li>・保護者が安心して楽しく育児ができるようサポートします。</li> </ul>	
家庭環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の状況を理解し、それぞれの家庭環境にあった適切な支援を行います。</li> <li>・必要に応じて専門機関に連絡し、専門的支援に繋がります。</li> </ul>	

(5) 安全のための仕組みづくり

観点	施設の役割	市の役割
防犯・防災・安全対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全マニュアルを作成し、職員への周知・研修・訓練を定期的実施するとともに、保護者等に対し、その取り組み内容等を周知し、連絡体制や緊急時の引き渡し、送迎方法を確立します。</li> <li>・有事の際の「緊急対応マニュアル」などをホームページで公開し、園の対応（衛生面、連絡体制等）についての理解促進を図ります。</li> <li>・子どもの飛び出し防止、熱中症予防、不審者侵入、施設の耐震化など、安全対策を講じます。</li> <li>・保護者と緊急時の対応を共有し、有事の際の対応を整え訓練を行います。</li> <li>・安全マニュアルは、PDCA サイクルの観点から定期的に見直します。</li> <li>・日々の保育・教育の中で子どもたちの年齢や発達の状態に合わせて、必要なルールを知らせ、安全意識を育てます。</li> <li>・遊びを通して危険を回避する力を身に付けられるようにします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各園の安全対策に向けた支援</li> </ul>
事故・ヒヤリハット事例の共有と再発防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室内外、園庭、駐車場、散歩コースなどの危険個所の把握を行い改善に努めます。</li> <li>・事故防止委員会を開催し、ヒヤリハットの検証や改善策を職員会議で確認・協議のもと改善、予防に努めます。</li> </ul>	
業務継続計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市と連携し、業務継続計画(BCP 計画)を策定します。</li> <li>・あらゆる自然災害を想定し、保護者、地域の方を交えた避難訓練を行います。</li> <li>・地域資源と連携し、災害時などの協力体制を整えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携体制の構築</li> </ul>

(6) 情報公開・情報発信の充実

観点	施設の役割	市の役割
保育・教育の方針等の公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、地域の方への情報発信の充実を図ります。</li> <li>・施設としての自己評価結果の公表や日々の保育・教育活動の様子等、保護者や地域への情報提供、情報公開に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市公式 LINE 等を活用した情報発信</li> </ul>
HP や SNS の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページに加え積極的に SNS を活用するとともに、定期的な情報を更新します。</li> </ul>	
ICT の活用による保護者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページなどで園情報や第三者評価結果を公開し、保育・教育の理念や年間行事、イベントの様子などを積極的に発信し、保護者や地域への情報提供に努めます。</li> </ul>	

## 2 質の高い保育・教育の展開

### (1) 遊びへの意欲が高まる活動内容

観点	施設の役割	市の役割
主体性と発達に応じた遊びの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが安心して主体的に学び、個々に応じた成長が出来るような環境を整えます。</li> <li>・子どもの興味関心に寄り添った「遊び」の機会を増やし、年齢や発達段階に合った多様な遊び（身体発達を促す運動遊び、製作などの想像力を育む遊び、仲間と協力する遊び、季節を感じる遊びなど）を取り入れます。</li> <li>・遊びにワクワクするような導入、道具や材料の工夫、子どもの様子を観察して、柔軟に遊びを展開します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設訪問型研修の実施（継続）</li> <li>・玩具と発達について学ぶ機会の提供</li> <li>・国等が発出する資料の提供や先進事例等に係る情報提供</li> <li>・書籍購入費や参加費への助成</li> </ul>
挑戦する気持ちと達成感を得られる活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの興味関心を捉え、やってみたいと思う仕掛けや多様な活動内容を準備し、年齢や発達に応じた、遊び込める保育・教育環境を常設します。</li> <li>・子どもの主体性を尊重し、自分で考え選択・決定する力を育む保育・教育を実施します。</li> <li>・「遊び」や「体験」を通して主体性や探求心を刺激し、「過程」を具体的に認め、次への意欲を高める保育・教育を実施します。</li> </ul>	
社会性と協調性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の異年齢保育や異年齢活動、縦割り保育などの活動を通して、相手を思いやる気持ちや憧れの気持ち、育ち合う関係や認め合う関係を育む保育・教育を実施します。</li> <li>・日常の肯定的な声掛け、受容的なアイコンタクト、子どもの言葉にならない感情の汲み取りなどから、子どもとの信頼関係を築き、全ての子どもが安心して自己を表現できる保育・教育を実施します。</li> <li>・安定した保育・教育環境、安心感のある関係性の中で、様々な年齢の友達や保育士・教職員と関わりを持ち、多様な人間関係を構築しながらコミュニケーション力などを育む保育・教育を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル園への視察</li> </ul>
非認知能力と認知能力のバランス育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びや日々の生活を通して、非認知能力と認知能力を一体的に育みます。</li> <li>・非認知能力の育成に繋がる、やり抜く力・粘り強さ・立ち直りや折り合いをつける力等を育みます。</li> <li>・認知能力の育成に繋がる、知識・技能等を育みます。</li> <li>・一人ひとりとの対話を通じて、子どもの感情や思考に寄り添いながら、共感性を高め、心と知性が調和した成長を支える保育・教育を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル園への視察</li> <li>・コミュニケーション教育や協働的な学びに繋がる機会の提供</li> </ul>

(2) すべての子どものウェルビーイングの実現

観点	施設の役割	市の役割
子どもの人権尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心理的安全性が確保された環境の中で、全ての子どもが健やかに育つためのウェルビーイング教育を実践します。</li> <li>・子どもの意見を聴き、子どものプライバシーと尊厳を守る保育・教育を実践します。</li> <li>・虐待防止意識を徹底します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育コーディネーターによる巡回支援[再掲]</li> <li>・保育サービス質向上研修会等を通じた施設間の相互研鑽</li> </ul>
自己肯定感を育む保育・教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びや探究活動を通じた主体的な学びの展開、子どもの選択を尊重した保育・教育環境作りを継続して行います。</li> <li>・プロセスや生活体験を重視し、成功体験を味わえる個別最適化保育・教育を目指します。</li> <li>・意欲や自発性を発揮できるように保育環境を構成し、子どもの主体的活動の機会を保障します。</li> <li>・子どもの発達のパースや興味・関心を尊重し、自ら学び育つ力を引き出す日常の成功体験を積み重ね、自己肯定感と学ぶ意欲を育みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て講演会の開催</li> </ul>
家庭支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての家庭と子どもが、健やかに育つための家庭支援・保護者支援を行います。</li> <li>・子育て中の保護者がリフレッシュや情報交換の機会を持てるよう、子育て相談や交流などを提供します。</li> </ul>	

(3) 学院活動

観点	施設の役割	市の役割
学院活動(3小連携)との連携・接続の深化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が架け橋期(義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生までの2年間)の共通認識を持ち、子どもの将来を見据えた育ちと学びをつなぐため、各学院活動(3小連携)の連携と接続を推進します。</li> <li>・各学院の接続カリキュラムを毎年見直し、実情に応じた接続カリキュラムにアップデートし実践します。</li> <li>・学院ごとに年長児交流会を実施します。</li> <li>・施設間、校種間の交流等の機会を増やし、就学時の不安軽減を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校種を越えた合同研修会の開催</li> <li>・年長児交流会の支援</li> <li>・スクールバスの利用支援</li> </ul>

#### (4) 職員のスキルアップ

観点	施設の役割	市の役割
職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通じた研修計画を策定します。</li> <li>・保育・教育の知識や専門性を深め、コミュニケーション能力、リーダーシップ、体力、観察力、判断力など、子どもたちの健やかな成長を支えるために必要な実践的・多様な能力を、経験や研修、自己学習を通じて習得・向上させることに努めます。</li> <li>・発達理解、インクルーシブ保育・教育、保護者支援、不適切保育など多方面を学ぶ機会を保障し、職員全体の専門性の向上を図ります。</li> <li>・全ての職員が役職・クラス担任・雇用形態に関係なく、受講できる体制を整えます。</li> <li>・研修で学んだことを職員会議などで共有し、日々の保育・教育へ反映します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市全体で共通認識となる学びの研修会の継続</li> <li>・研修受講のための人件費補助</li> </ul>
園内研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に園内研修を実施します。</li> <li>・PDCA サイクルに基づいた園内研修を実施し、施設全体の保育環境の充実と質の向上につなげます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設訪問研修を踏まえた園内研修の促進</li> </ul>

### 3 多様なニーズに対応した保育・教育の実施

#### (1) 多様なニーズに対応した保育・教育の実施

観点	施設の役割	市の役割
早朝・延長保育 預かり保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化するニーズを踏まえ、柔軟に対応できる体制を整えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加配保育士配置等に係る支援の拡大</li> </ul>
障害児・発達支援児保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画に基づき、丁寧な保育・教育を実施します。</li> <li>・専門的知識を高め、個々の状況に応じた発達を促進します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援が必要な子どもの受け入れに係る環境整備への支援</li> </ul>
医療的ケア児の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け入れに必要な医療的環境を整えます。</li> <li>・医療ケア計画に基づき、適切な医療的ケアを実施します。</li> <li>・保護者や医療機関と連携を密にし、きめ細かな対応を行います。</li> <li>・緊急時の対応を定め、安全かつ迅速に対応します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門研修受講への支援</li> </ul>
多文化・外国にルーツを持つ子どもの受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語・文化に配慮した保育・教育を実施します。</li> <li>・保護者との意思疎通に努め、信頼関係を構築します。</li> <li>・新たな文化にふれる機会とし、互いを認め合う保育・教育を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園留学の実施</li> </ul>

休日保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して過ごせる環境を整え、家庭の事情に応じた保育・教育を提供します。</li> <li>・保護者や在籍園と連携して保育・教育を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度周知、広報の実施</li> </ul>
一時預かり保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の事情に応じた保育・教育の提供体制を整えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3時間まで無料の継続</li> </ul>
病児・病後児保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への情報提供を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度周知、広報による事前登録と利用の促進</li> </ul>
アレルギー児の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や関係機関と連携し、アレルギー症状を誘発させない安心な保育・教育を実施します。</li> <li>・栄養士、調理員、担任が連携し、安全な食事を提供します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市栄養士による相談支援・情報提供</li> </ul>
乳児等通園制度 親子通園支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国府の制度に基づき適切に実施し、未就園児の育ちを支え、保護者の孤立感、不安感の解消を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度周知・広報による事前登録</li> </ul>
多様性の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人ひとりの個性を尊重し、障害の有無、国籍、家庭環境などにかかわらず、すべての子どもが安心して成長できる環境を提供します。</li> <li>・子どもたちの多様性を尊重し、ニーズに応じた保育・教育が受けられる「インクルーシブ保育・教育」を目指します。</li> <li>・家庭環境など一人ひとりに応じたきめ細かな保育・教育を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な人々の繋がりによる子育て機運の醸成</li> <li>・支援が必要な子どもの受け入れに係る環境整備への支援[再掲]</li> </ul>
地域の子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサポート事業の実施などにより、入園前の子育てを支援します。</li> <li>・親子交流の場の提供や育児相談に応じます。</li> </ul>	

## (2) 保育サービスの充実

観点	施設の役割	市の役割
紙おむつ・おしりふきの無償提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生的な保管と適切な使用を徹底します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続実施</li> <li>・制度周知</li> </ul>
一時預かり保育 [再掲]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の事情に応じた保育・教育の提供体制を整えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3時間まで無料の継続</li> </ul>
ニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者のニーズに応じた保育・教育の提供をするためのアンケートを定期的実施します。</li> <li>・保護者のニーズを把握し、より良い保育・教育の提供に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートの実施と分析</li> </ul>

### (3) 地域力の活用

観点	施設の役割	市の役割
地域資源との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のボランティア団体や民生・児童委員などの地域との繋がりを深めます。</li> <li>・地域の様々な人と触れ合う機会を設け、地域に開かれた施設を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供</li> <li>・体験活動などへの支援</li> </ul>
地域資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海、山、川などの宮津の自然や祭りなどの伝統文化にふれる機会を設けます。</li> <li>・市内の活動体験への参加や、公共交通の利用に努めます。</li> </ul>	

## 4 働きやすい職場づくり

### ■人材確保に向けて

観点	施設の役割	市の役割
心理的安全性の高い職場環境の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信頼、尊重し合える関係づくりに取り組みます。</li> <li>・意見を尊重し合える、風通しの良い職場環境づくりに取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府保育人材マッチング支援センターとの連携強化</li> <li>・就職フェアへの参加</li> <li>・研修受講のための人件費補助[再掲]</li> <li>・支援が必要な子どもの受け入れに係る環境整備への支援[再掲]</li> <li>・専門研修の受講補助[再掲]</li> <li>・人材確保のための支援制度の導入               <ul style="list-style-type: none"> <li>就業一時金、住居対策、給与改善、</li> <li>加配基準拡大[再掲]、</li> <li>休暇促進やノンコンタクト</li> <li>タイム導入のための支援、</li> <li>など</li> </ul> </li> <li>・未来を担う人財応援奨学金(宮津市)の周知</li> </ul>
適正な業務分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な人員配置を行い、業務分担の平準化を図ります。</li> <li>・休暇が取りやすい勤務体制を整えます。</li> </ul>	
働きやすい環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に働ける施設整備に努めます。</li> </ul>	
人事評価・キャリア形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事評価基準を職員に示し、適切に評価される仕組みを構築します。</li> <li>・全ての職員が自己成長を実感できる職場環境を整えます。</li> <li>・職員それぞれが望む働き方を実現できる環境を整えます。</li> </ul>	
ICTの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用し、業務の効率化を図り、職員の負担を軽減します。</li> </ul>	
ワーク・ライフ・バランスの実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てや家族、リフレッシュのための休暇が取得しやすい環境を整えます。</li> <li>・職員のキャリアやビジョンを聞く機会を設け、ライフステージに合わせて働きやすい職場環境の実現に努めます。</li> </ul>	

福利厚生充実	<ul style="list-style-type: none"><li>・福利厚生制度の充実を図ります。</li> <li>・職員の健康に留意し、健康に働き続けられる環境整備に努めます。</li> <li>・相談窓口の設置など、相談しやすい体制を整備し、メンタルヘルスサポートの充実を図ります。</li> <li>・ノンコンタクトタイムの導入を目指します。</li></ul>	
--------	--	--